

「Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023」 受賞者決定及び授賞式・受賞記念シンポジウム開催のお知らせ

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、世界に発信すべき中堅アーティストの更なる飛躍を促すため、現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award」を実施しています。この度、第3回受賞者が決定しましたのでお知らせします。

また、授賞式及び受賞記念シンポジウムについて以下の通りご案内します。

1 「Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023」 受賞者（2名）

- ・志賀 理江子（しが りえこ）
- ・竹内 公太（たけうち こうた）

※敬称略／五十音順

※受賞者のプロフィール等詳細は別紙1をご参照ください。

2 賞の概要

賞の概要については、別紙2またはwebサイト(<https://www.tokyocontemporaryartaward.jp/>)をご参照ください。



【問い合わせ先】

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5320-7703

公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課

電話 03-5245-1142

（裏面に続く）

3 授賞式及び受賞記念シンポジウム

(1) 授賞式

開催日：令和3(2021)年3月19日(金曜日) 10:30~11:00

※新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小し、関係者のみで実施します。

※オンラインでの配信を予定しています。詳細は後日 web サイトにてお知らせいたします。

(2) 受賞記念シンポジウム ※入場無料・要事前申込・先着順

開催日：令和3(2021)年3月21日(日曜日) 14:00~15:30 (開場 13:30)

会場：東京都現代美術館 地下2階講堂

※オンラインでの配信も予定しています。詳細は後日 web サイトにてお知らせいたします。

※登壇者やシンポジウムのテーマ等の詳細は後日 web サイトにてお知らせいたします。

<申込方法>

web サイト内申込フォームより、3月10日(水曜日)までにお申込みください。

申込フォーム：<https://www.tokyocontemporaryartaward.jp/form/>



※新型コロナウイルス感染症の状況により、実施内容等に変更等が生じる場合があります。

変更等が生じた場合は web サイトにてお知らせいたします。

【参考】Tokyo Contemporary Art Award 受賞者について

(1) 第1回 (Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021) 受賞者

風間 サチコ (かざま さちこ)

下道 基行 (したみち もとゆき)

※令和3(2021)年3月20日より東京都現代美術館にて「Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展」を開催します。詳細は web サイトをご覧ください。

(2) 第2回 (Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022) 受賞者

藤井 光 (ふじい ひかる)

山城 知佳子 (やましる ちかこ)

※令和4年春 受賞記念展開催予定

本件は、「『未来の東京』戦略ビジョン」を推進する先導的事業です。

戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略「アートショーケース TOKYO プロジェクト」

本件は、「ホストシティTokyoプロジェクト」に係る事業です。

「カテゴリー：魅力発信 プロジェクト名：東京文化プログラムの拡充・推進」

Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023 【受賞者のプロフィール等】

志賀 理江子（しがりえこ）

1980年愛知県生まれ、宮城県在住。
2004年ロンドン芸術大学チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン卒業。

2008年から宮城県に移り住み、その地に暮らす人々と出会いながら、人間社会と自然の関わり、死への想像力や、記憶などを題材に制作を続ける。過去と未来が断ち切られた、「永遠の現在」と呼ばれるフラッシュバック的な時空間を、写真によって可視化することを試みる作品は、鑑賞者を視覚的に没入させるだけではなく、身体的に写真空間へと引き込んでいく。

○主な展覧会

個展「ヒューマン・スプリング」(東京都写真美術館、2019)
「ビルディング・ロマンス—現代譚(ばなし)を紡ぐ」(豊田市美術館、愛知、2018)
個展「ブラインドデート」(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川、2017)
個展「カナリア」(Foam写真美術館、アムステルダム、2013) など。



《人間の春・昨日と変わらない今日、今日と変わらない明日》
2019、Cタイププリント「ヒューマン・スプリング」(東京都写真美術館、2019)

竹内 公太（たけうち こうた）

1982年兵庫県生まれ、福島県在住。
2008年東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。

パラレルな身体と憑依をテーマに、時間的・空間的隔たりを越えた活動を展開する。失われた歴史の痕跡を辿り、隔絶された土地で協働しながら、取材と制作・パフォーマンスが一体となった行動を元に、映像・写真を用いたインスタレーションを発表。作者自身や鑑賞者の体験を通じ、メディアと人間の関係を表現する。

○主な展覧会

個展「Body is not Antibody」(SNOW Contemporary、東京、2020)
「第6回アジア・アート・ビエンナーレ」(国立台湾美術館、台中、台湾、2017)
個展「メモリー・バグ」(Arts Catalyst、ロンドン、2016) など。



《文書1: 王冠と身体》
2020、インスタレーション、紙にレーザープリント

「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞として、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、概ね10年以上の活動経歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

- ・スタジオ訪問や面談により、**作品のみではなく**、制作のプロセスを含めたアーティストの**ポテンシャルを総合的に審査**
- ・受賞から、**東京都現代美術館で展覧会を実施**するまで、2年間をかけて**継続的に支援**

【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援上限100万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展示にあわせて制作）

【賞のスケジュール】



Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023 選考委員

(順不同／敬称略)

ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ	ヴィッテ・デ・ヴィット現代美術センター（旧称）ディレクター
住友 文彦	アーツ前橋 館長／東京藝術大学大学院 准教授
高橋 瑞木	CHAT（Centre for Heritage, Arts and Textile）エグゼクティブディレクター 兼チーフキュレーター
キャロル・インハ・ルー	北京インサイドアウト美術館 ディレクター
鷺田 めるろ	十和田市現代美術館 館長
近藤 由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

※肩書きは、令和3(2021)年1月時点のものです。